

大府かわら版

デイサービスセンター 存続を!

日本共産党・久永かずえの6月市議会報告② ①は6/23号に掲載

20日に終わった6月定例市議会。30年前から高齢者とその家族の「生活」を支えてきた大府デイサービスセンターの「令和7年3月末での廃止」が賛成多数で決まりました。日本共産党・久永かずえ議員だけが「3つの理由」を述べて廃止に反対しました。

利用者・家族の声まっすぐ届け

3つの理由

『デイ廃止』反対

日本共産党
久永市議

①福祉に「効率」はなじまない

「高齢者はモノではない、人として扱ってほしい」「目の前の高齢者の生活をないがしろにしている。人権侵害ではないか」——利用者家族の言葉に胸が痛む。福祉は儲かるものではないのに、生活の一部であるデイサービスの廃止の理由に「効率化」や「採算性」を持ち出すこと自体が問題。大府デイサービスセンターのある「いきいきタウン大府地区」の計画では「高齢者がいきいきと、かつ安心して暮らせるまち」をつたっており、デイの廃止は大府市が決めた地区計画の目的に沿わないどころか逆行している。

②「老朽化」と言いが矛盾している

「建物の老朽化」で廃止と言いながら、同じ建物を建替ではなく改修して「おもちゃ美術館」にする(令和9年開館の計画)のは矛盾している。「赤字運営」も指定管理者の責任であり、そもそも大府市の指定管理料が不足していたかもしれない。そのし寄せが「デイの廃止」という形で利用者への不利益につながることは問題。

③関係者への周知が遅すぎる

利用者とその家族は、5月19日の説明会に参加し、その場で初めて「廃止」を知らされた。こういう進め方は大きな問題。せめて「廃止方向を検討中」と早々に知らせるなど、利用者や家族の生活を最優先に考える必要があったのではないかと。説明会のあと「デイがなくなるんだってね」と泣きながら通う利用者もおられると聞く。その気持ちを受け止めながら残りの期間

大府デイサービスセンターの廃止に

反対 日本共産党・久永かずえ

賛成 他の全議員

↑ 2024年6月議会での賛否

利用者の声

●せめて指定管理者が社協からネットワーク大府に変わった2年前に「3年後には廃止の方向で検討している」と説明があれば他施設に替わる準備もできたし、数か月のお試し通所で自分にあった施設をゆくり選ぶことができた。せめて3年あれば複雑な気持ちの整理もついたかもしれないが、準備の時間が1年もないことが問題だ。



利用者等が市長へ要望書 325名分提出

下記の要望書が325名分提出されました。

- (1)大府市デイサービスセンターの存続を。
- (2)サービス内容・職員の対応全てに他では得られない満足がある。
- (3)高齢者にとって、もはや生活の一部であり家族が安心できる場所。大府市デイサービスセンターの廃止は精神的苦痛を伴い、私にとって死活問題。この場所を奪わないでほしい。

「家族がお世話になった」「将来利用したかった」と、広く市民から要望書への賛同が寄せられています。市は、その思いを重く受け止め「市長への手紙」と同様に一人ひとりへの返事が必要です。

高齢者の日常切り捨てに「何でも賛成」ではいいのか

こうして高齢者の日常を切り捨て、市長の「やりたいこと」優先と言わざるを得ない「デイ廃止」に、日本共産党・久永議員以外の全議員が賛成しました。これでいいのでしょうか。介護保険法は「介護が必要な人の尊厳を保持し、保健医療の向上及び福祉の増進を図る」のが目的。このもとで大府市も「地域住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら参加し共生する地域社会の実現に向けて貢献するよう努め」る責務を負います。そして公務員は、社会や人のために貢献し一人ひとりの生活を大事にして守っていくのが仕事です。日本共産党はこれからも、誰もが安心して暮らせる大府市を願い、市長提案にオール賛成ではなく是々非々を貫いてがんばる決意です。

相談はお気軽に
声かけください



生活相談 日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で
弁護士が対応

法律相談

7月17日(水)午後6時～**無料**

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ 090-1758-3521
携帯電話